



学校便り

令和3年度—NO.5

チャンスは準備された心にもみ訪れる

子どもはなぜ好き嫌いをするのか、生物学的に考えてみます。「苦い物には毒がある。酸っぱい物は腐っている」であるならば、大人より抵抗力の弱い子どもが、苦い物や酸っぱい物を拒絶するのは、自分の命を守るためのヒトとしての本能と言えるでしょう。「甘い物は別腹」に関しては、人類の歴史がほとんど飢餓状態であったことを考えると、糖分を摂れる時には必要以上に摂っておくことは当然のことかも知れません。

美肌を保つためにコラーゲンを摂取するというのは、どうでしょう。コラーゲンは体内でアミノ酸に分解されます。分解されたアミノ酸が再び体内でコラーゲンになるとは限りません。むしろ、ほとんどコラーゲンにはならないそうです。豚足を食べた翌日にお肌のハリを感じたのは、あなたのお肌がもともと美しいからではないでしょうか。

コロナの収束がまだまだ見えない状況ですが、ウイルスに悩まされるのは今に始まったことではありません。多種多様な病原細菌などに対して生物は、百万通り以上の抗体を準備して対抗してきました。大半の抗体は使われないまま終わります。効率とは真逆の、過剰に準備するのが生命なのです。ヒトの脳も、誕生直後から積極的にシナプス結合を形成し、過剰なまでのネットワークを作ります。使われなかったシナプスは10歳頃までに半減してしまいますが、代わりにその過剰な準備のおかげで、ヒトはどんな風土に生まれても適応し、いかなる言語でもしゃべれるようになるのです。

フランスの微生物学者ルイ・パスツールは、弱毒化した微生物を接種することで免疫を得ることができるということを発見して「ワクチンの予防接種」という感染症に対する予防法を開発した人物です。彼は、「le hasard ne favorise que les esprits préparés」（チャンスは準備された心にもみ訪れる）という言葉を残しています。科学者は時に予期せぬ発見に遭遇することがありますが、そのチャンスを功績に繋げられるかどうかは、普段からの入念な観察と心構えがあるかどうかにかかっています、ということでしょう。

2学期は宿泊行事や体育大会、図工展等の行事があります。特に6年生は、昨年度に一度も泊を伴う行事を実施できていませんので、是が非でも1泊2日の修学旅行は実現させたいです。ただし、感染症に限らず怪我や非常変災等、行けなくなる事態にいつ何時、遭遇するか分かりません。自分ではコントロールできないことは、どうしようもありませんが、怪我のリスクを減らす、不要不急の外出を避けるなど、考え得る限りの「準備」をしておくことは出来るでしょう。「備えあれば憂いなし」で、行事を遂行していきたいものです。



(校長 河合 康一)

【9月の予定変更について】

緊急事態措置や感染の急拡大に伴い、2学期当初に計画しておりました水泳は中止とさせていただきます。また修学旅行、及び自然学校については日程を延期し、行き先も再調整します。詳細については決まり次第、対象学年にお知らせします。

夏休みの延長については先週の月曜日にお知らせしましたが、今後も急な予定変更については、ミマモルメにて配信させていただくことがあります。ミマモルメの登録がお済でない方は、至急登録をお願いします。

【感染症拡大防止対策について】

学校では、これまで以上にマスクの着用や手洗いの徹底等、感染症対策を行ってまいります。ご家庭でも、発熱やその他風邪などの症状がみられた場合は登校を控えていただくとともに、同居のご家族が検査対象になられた場合は、速やかに学校にご連絡いただき、お子様は登校させないよう、ご協力の程よろしくをお願いします。

状 況	該当者		登校について （「欠席」ではなく、「出席停止」となります）
	本人	同居家族	
感染者になった場合	■		医師や保健所の指示により、登校可能（治癒）となるまでの間、登校できません。
発熱等の風邪の症状がみられる場合	■	※	症状がなくなるまで登校できません。
発熱等の風邪の症状により検査する場合	■	■	検査結果(陰性)が出るまでの間、登校できません。
濃厚接触者になって検査をする場合	■		検査結果が陰性であっても、感染者と最後に接触をした日の翌日から14日間、登校できません。
		■	検査結果(陰性)が出るまでの間、登校できません。

※同居家族が発熱等の風邪の症状がみられる場合、本人の登校は可となっておりますが、感染拡大防止の観点から登校を控えていただくと助かります（出席停止扱い）。

【熱中症対策について】

学校では、熱中症計で暑さ指数（WBGT）を計測すると共に、環境省の「熱中症予防情報サイト」による予測を確認しています。暑さ指数（WBGT）が31を超える場合は、屋外での運動は原則中止します。

体育を実施する場合、授業中にもこまめな水分補給をするように時間をとっています。十分な量のお茶を持たせていただきますよう、お願いします。また登下校の時間帯でも日差しがきつい日があります。帽子の着用など、ご家庭でも熱中症対策をよろしくをお願いします。

マスクの着用については、児童の健康状態に十分留意し、息苦しさを感ずるなど健康被害が発生するおそれがある場合は、周囲と十分な距離を取った上でマスクを外させるようにします。ご家庭でも同様のお声掛けをしていただければと思います。